

キャラクター名
暁山 瑞希 (あきやま みずき)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン	ワークス	高校生	カヴァー	
オプション		年齢		性別	
覚醒	渴望	衝動	自傷	初期侵食率	37 %
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	2		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	マス	消費
綾瀬 真花	P 慕情	N 不安			
朝比奈まふゆ	P 友情	N 悔悟			
東雲絵奈	P 友情	N 不安			
東雲絵奈	P 愛情 (一人異性として)	N 嫉妬			
綾瀬 真花	P 愛情 (家族として)	N 不安			
	P	N			
	P	N			

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C:キュマイラ	2	2	メジャー					
効果:	完全獣化							
完全獣化	2	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	肉体系判定+【LV+2】D							
ハンティングスタイル	2	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	マイナーで戦闘移動行える。シーンLV回							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	素手の攻撃力+【LV+8】 ガード+1							
リミットリリース	1	6	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果:	判定直前使用。その判定のC-1 (下限5)							
鬼の一撃	2	2	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果:	ガードした相手に攻撃力+【LV×5】							
崩壊の鼓動	3	常時4	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	素手の攻撃力+【LV×2】 侵食率基本値に+4							
獅子粉塵	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	白兵	-	
効果:	シナリオLV回 組み合わせた白兵を範囲(選択)にする							
竜鱗	3	3	リアクション	至近	自身	自動	-	
効果:	装甲+【LV×10】 他装甲と重複							
神獣撃	3	2	メジャー	武器	単体	白兵	80↑	
効果:	完全獣化時攻撃力+【LV+2】Dする。その後完全獣化は解除される。							
体系意地	1		常時	至近	自身	自動		
効果:								
空の楽器	1		メジャー	視界		自動		
効果:	何も無い空間で演奏や音の再現が出来る(会話も)							
眠れる遺伝子	1							
効果:								

「あの子が死ぬなんて嘘よ!!死ぬならあんたが死ぬべきだったのに!!」
 それは双子の姉が死んだときに母親から僕に放たれた呪いの言葉。
 あれから僕に対する態度は冷たくなり、日に日に突き刺さった棘は僕の心を化膿させていく。
 いっそのこと、僕が姉だったら……そんな思いもあり、姉の服を着てみたところ、母親が返ってきたのが僕を更に至ませた。
 「ああ……ああ、やっぱり死んだのは瑞希なのね!もう、質の悪い冗談はやめなさいよ」
 質の悪い冗談とは貴方ではないのか。
 そんなことは当時は一切思わず、笑顔で抱きしめてくれた母親を見て僕は嬉しかったんだ。
 ……たとえそれが僕自身に向けられた感情出なかつたとしても。
 僕はその時、姉の代わりになった。
 中学生活も女性の制服で過ごし、最初は心配してくれたみんなも性格や話し方も矯正していく僕を見て離れていった。
 時には心無い言葉をぶつけられたり、いじめもあった。
 先生方は痛々しいものを見るような目で見つつも、最後まで心配してくれたけど。
 高校は私服で通える学校を選んだ。
 服装を校則で指定されてないだけ、僕の負担は減った。
 でも、性別は偽れない訳で。
 僕の噂は瞬く間に校内を駆け巡った。
 それを承知で友達になってくれる人もいれば、異物を見る目を向ける人もいる。
 でも、中学時代よりはずっといい。
 そう、思っていた。
 たった一回のミスだ。
 それまで大丈夫だったのに。
 油断していたんだ。

